

第5回市長と語る！ふれあいミーティング（飯能消防団座談会）会議録

- 1 日 時 令和8年10月1日（木）18時00分～18時50分
- 2 場 所 市役所本庁舎別館 危機管理会議室
- 3 参加者 飯能市消防団4名（団長、副団長）、市役所職員9名（市長、副市長ほか関係部署職員）

4 ミーティング内容

(1) 市長あいさつ

皆さん、こんばんは。飯能市長の新井重治でございます。

本日は飯能消防団・正副団長会議の中に、このような座談会の場を設けていただきました。大変ありがとうございます。

この場を「市長と語る！ふれあいミーティング」と位置付け、飯能市における防災の要（かなめ）であります、消防団をまとめる、団長、副団長の皆様と、様々な意見交換ができればと思っております。

消防団の役割や、やりがい、課題、それらを踏まえ、「災害に強いまちづくり」の取組推進に関するアイデアなどのご意見をいただければと考えております。

ぜひ、忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。それでは、よろしくをお願いします。

(2) 参加者紹介

(3) ミーティング内容

①趣旨説明

飯能市は、今年度から第6次飯能市総合振興計画をスタートしました。その柱の一つとして「あんしんづくり」を基本目標とし、自助・共助の意識の醸成、地域防災力の向上などにより、「誰もが安全・安心に暮らし続けることができるまち」を目指しています。

防災・消防の分野では、「地域防災計画」を策定し、「市民・地域」、「飯能市」が連携し、自助、公助、共助の取組を推進しております。

「消防団」は、災害時における各地域における要であり、地域の安全・安心を担う大きな役割を担っており、団員の皆様は、地域のためという、高い志を持って入団いただいております。

本日は、地域の防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進していくため、忌憚ないご意見をいただき、その取組のヒントをいただければと思います。

②「テーマ1 消防団のやりがいについて」

※「→」は消防団の方の発言。「○」は市側の発言

→地域を守る使命感が一番大事なことだと思っている。住んでいる地域を良く知っていることが我々消防団の強み。消防団には地域で活動する中、先

輩・後輩の良い関係性がある。

→消防団入団後は使命感を持って日々の訓練を行っている。自分たちのまちは自分たちで守ることが一番重要なことだと思っている。私は入団してから25年ほど経つが、全く知らなかった仲間との横のつながりができたことが大きい。そのつながりが仕事にもつながることがある。

○横のつながりが強まるとやりがいも更に感じますか。

→やりがいを感じる。様々な職種の方と知り合うことができた。入団しなければ得られなかった人脈であり、宝だと思っている。

→仲間が増えるということ。また、訓練ではもちろんのこと、消防以外の悩みを仲間と相談することなどを通じ、更に仲間意識が強くなっていく。そういった団結の強まりが、有事の際の活動のしやすさにつながっているのではないか。こういった経験はお金を出しても買えないものであり、入団しないと経験できないものだと思う。

→最近では学生の団員が増えてきた。分団長をやっていた際にやる気のある学生団員の姿勢・行動が周囲に好影響を与えているのを見た時にやりがいを感じた。また、消防フェスタで分団の活動等をPRした際に、反響をもらえるのが嬉しく、やりがいを感じる。

○私も消防団活動の中で異業種、他年代の方と交流した経験は自分の財産となっています。多くの方々にも、ぜひそのような経験をしてもらいたいと感じました。

○皆さんの話から、消防団活動を通じて、人と人とのつながりが強くなることがわかりました。これは、何にも負けない強みだと思いますので、ぜひ後輩の団員にも伝えていただきたいと思います。

③「テーマ2 今、力を入れられている活動、課題について」

→どの分団においても団員の確保が課題となっている。先日、研修に参加した際にSNSのショート動画を活用し団員を大幅に増やしている取組を聞いた。飯能消防団としてインスタグラムを2年前に開始しているので、若い人などを巻き込んで、このような媒体を活用し、うまく情報発信を行っていきたい。

→飯能には市街地にある分団も山間地域にある分団もあり、それぞれに課題

がある。昨年、山林火災もあったこともあり山間地の分団では飯能日高消防署員との合同訓練なども含め、中継送水訓練に力を入れている。一方、市街地の分団の訓練では、倒壊建物救出訓練に力を入れている。

自主防災訓練の内容の強化が一つの課題だと思っている。自治会や消防団、教職員、地元の企業の方など様々な団体の方と連携し訓練することで、防災力の強化、消防団のPRにもつながると考えている。最近、私が関わっていた自主防災組織の訓練を見る機会があったが、10年前と内容がほとんど変わっていなかった。自治会長も変わってしまうので、地元の消防団員の情報など、訓練を重ねながら必要な情報の引継ぎが必要だと考える。

→山林火災が多いことから、中継送水訓練に力を入れている。今後も他市の消防団との合同で中継送水訓練を行うなど、連携を深めていく。山間地域の分団のほうが中継送水訓練は手慣れているが、市街地の分団でも訓練を積み大規模な山林火災が発生した際には対応できるような体制を作る必要がある。救助資機材訓練も含め、有事の際に力を発揮できるよう、訓練を積んでいきたい。

→飯能日高消防署との合同訓練に力を入れている。火事場で力を発揮するためには顔の見える関係性づくりが必要なので、訓練や懇親会を実施している。

現在の消防団の団員数は331名。団員の高齢化が進んでいる。消防フェスタなどで市民へ消防団をアピールし、団員の確保をすること、特に若い団員の確保が一番の課題だと考えている。

また、山間地域に住んでいた方が、外に出てしまうことで昼間の火事にどう対応するか、ということも課題の一つ。他の消防団では退団した消防団OBを活用する取組もあるとのことと研究をしたい。

○顔の見える関係性づくりは、消防団に限らず地域福祉の分野などでも有事の際に役立つ非常に重要な取組だと思います。山間地域の方が引っ越して、まちなかに住む方が多いという話を受け、昼間の対応をどうするかが大きな課題であると感じました。消防団OBの活用のお話は新たな展開につながるヒントになるかと思っています。

○ラッピングバスは国からの委託金を活用し、効果のあった良い取組だったと思っています。また、消防フェスタも家族で参加できるイベントであり、評判が良く嬉しく思っています。

消防団も市街地と山間地域の二つに分かれていますが、市街地の消防団員が山間地でどれだけ活動できるか。またその逆はどうか。そういった訓練を行っても良いのかなと感じました。

④「テーマ3 消防団が将来目指すべき姿、今後行うべき取組について」

→自主防災訓練に力を入れるべきだと考えている。有事の際には連携が必要となるので、市職員、教職員、地域の方、企業の方などを交えての訓練が必要。また、色々な指定避難所があるが訓練は同じところで行うことが多いので、場所を変えて行うことが必要ではないかと思う。

→私も自主防災訓練の必要性を感じている。消防団と市民が密になって訓練を行う必要があると思う。また、市民の方が、指定避難所の場所を知っているか疑問に思うこともあるので、基本的な事項についても浸透させていきたい。

→私も市民の方と自分たちのまちは自分たちが守るという意識を持ちながら、色々な訓練を行っていきたい。

→10年後、20年後を見据えた取組を行っていきたい。消防団員の人数は減っていくと思うので、その中でどのようにスマートに運営していくかがカギ。分団の中でも構成員の職種や役職を考えた人員配置の必要性もある。また、来年にかけて11分団の詰所も作っていただくが、詰所だけでなく車両などのあり方を考えるとともに分団の統合等についても考えていかないといけない時期だと思う。

全国的にも大規模災害が頻発している状況なので、予算が限られているのは十分承知しているが、飯能市の道幅に合った車両の整備の必要性などがあるため、市にもご協力をお願いしたい。

○自主防災組織との合同訓練の話が出ていましたが、関係性を確保するために改めて重要な取組だと感じました。南海トラフ地震発生 of 切迫性が高い状態の中、地域のつながりは重要になりますし、市民一人ひとりの防災リテラシーを高めるための取組を行政、消防団、地域の方々それぞれが行っていく必要があると思います。

市も必要な公共サービスを持続的に提供するため、公共施設のあり方について本格的に考えているところです。消防団詰所や車両に関しても一緒に協議をしながら進めていくことが重要になると考えていますので、よろしくお願いします。

○消防団とともに自主防災組織の力は強いものがあると思っています。有事には地元の消防団と自主防災組織の活躍が欠かせないので、普段から連携を取り、一緒に訓練等に取り組んでいただければと思います。

⑤「テーマ4 市に望むこと、その他について」

→2つ意見がある。一つは消防団員の家族の負担について。消防団員は夜の会議への出席などがあり、少なからず家族に負担をかけている部分がある。そのため、家族に対しての特典があると良いと思う。

もう一つは、市役所に保管されている指揮車がかなり古くなっているので、団員の安全確保や現場での指揮のことを考えると更新してほしい。

→火災現場等で消防団員が怪我をしないよう装備品の充実を図ってほしい。他の仕事を持っている中で消防団活動を行っているので活動しやすい体制を取っていただきたい。

→やはり指揮車がかなり古く活動にも支障が出ているため、更新を考えていただきたい。

→一つ市長に嬉しい報告がある。今回、埼玉県消防協会から現場功労賞をいただくこととなった。10月21日に表彰式に出席をするので、その後、改めてご報告をさせていただきたい。

市の予算の関係もあると思うが、消防団員は年俸、災害報酬、費用弁償をいただいているが、費用弁償については出し方を検討していただけると助かる。また、団員あつての消防団であるので、団員がしっかり活動できるよう、家族の理解・協力につながる特典があると良いと考える。

(4) 市長・副市長総括